



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル
 歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国



1 近況報告

大世帯であった2016-3次隊までの先輩方が任期満了で帰国し、気づけば2番目に古い隊次となりました。馴染みのある顔から、新しい顔に変わり隊員の雰囲気も大きく変わりました。東ティモールには青年海外協力隊が全員で約30名います。その隊員の活動と東ティモールの紹介を兼ねた機関紙も今月発行しました。



2016-3次隊の送別会での集合写真

2 配属先の活動

(1) おみやげ品の販売

開発したお土産品である”ベベアロンガンテ”の販売促進のため、各ホテルに置いてもらえるように依頼して回り始めました。

まずは、観光客や滞在している外国人を対象に販売していきたいです。また、ベベアロガンテの木彫り人形の他にもTシャツやステッカーも作っています。さらに、東ティモールではJICA事務所や日本大使館にも飾っていただいています。



自慢作のメガアロガンテと



JICA事務所



おみやげショップ



顔出しパネル

(2) 竹細工も継続

午後はNGOで竹細工を東ティモール人と一緒に作っています。今度は、展示会の開催に向け、作品をたくさん作り始めました。また、見学に来た韓国の方にも一緒に指輪作りを大変してもらいました。



韓国人も竹細工を体験

3 機関誌の発行



QRコード

東ティモールに派遣されている青年海外協力隊の有志で、隊員の活動紹介と、東ティモールの紹介を兼ねた情報誌を発行しました。まだまだ知られていない東ティモールの魅力、生活情報や観光情報が載っています。自分も赴任前に以前の機関誌をみて、東ティモールでの生活のイメージを感じることができました。JICA東ティモール事務所のウェブサイトに掲載されていますのでぜひご覧ください。

4 任国外旅行でマレーシアとインドネシアへ

協力隊には年に20日間、配属先とJICAの了承を得て、自費で隣国への海外旅行が認められています。今回はマレーシアとインドネシアに合わせて約1週間行ってきました。東ティモールを出て一番の楽しみは日本料理が食べれることです。旅行先では日本食を探しがメインで、今回は海鮮丼が食べられ大満足の旅でした。久しぶりに海外に出ると、道路脇で話している人、座っている人が少なく、真面目に仕事に取り組んでいる姿に、東ティモールと違うなと感じました。《第16号終わり》



マレーシアのパビリオン



“深夜特急”の舞台
ペナン島



インドネシアの竹屋さん